

基礎研修 演習資料

資料名	ページ
基礎研修 事前課題 参考資料	2
04 サービス担当者会議事前準備シート	3
05 ご本人との面談	4
06-01 サービス等利用計画	5
07 ニーズの整理表	6
08 ニーズの整理表（共同生活援助）	7
09 ニーズの整理表（就B）	8
10 個別支援計画	9
11 個別支援計画（共同生活援助）	10
12 個別支援計画（就B）	11
13 個別支援計画の中間評価（記入様式）	12
14 個別支援計画の中間評価（共同生活援助）	13
15 個別支援計画の中間評価（就B）	14
15 個別支援計画の中間評価（就B）別紙	15
18 個別支援計画（変更案）作成の会議録（共同生活援助）	16
19 個別支援計画（変更案）作成の会議録（就B）	17
20 共同生活援助事業所で行う個別支援計画の一例（変更案）	18
21 就B事業所で行う個別支援計画の一例（変更案）	19
個別支援計画書（参考様式：児童分野）	20
個別支援計画書（参考様式：生活介護）	21
個別支援計画書（参考様式：実地指導）	22
タイムスケジュール演習カリキュラム（タイムスケジュール）	23

特定非営利活動法人

シーガル研修・研究機構

「就労継続支援B型」

一般の企業・事業所に雇用されることが困難な障害者に対し、就労に必要な知識と能力の向上を図る訓練などを行う事業所です。

利用者は事業所が提供する生産活動に取り組みながら就労に必要な知識と能力の向上を目指し、職員はそれに向けた支援を提供しています。

一般企業での就労を目指したいが、まだ自信がない方や、福祉的支援を受けながら働きたい方が利用しています。事業所が提供する生産活動には、自主生産品の製造販売、受注作業・請負作業、飲食店運営など幅広い作業があり、労働の対価として工賃が支払われています。

日常的な生産活動以外で、行事や外出などの社会活動の提供をする事業所もあります。

事前課題 就労継続支援B型事業所「スマイル」のイメージ



施設外就労の様子

1日のながれ (例)

- 9:30 作業開始
- 10:30 休憩
- 12:00 昼休憩
- 13:00 作業
- 15:00 休憩
- 16:00 作業終了・帰宅

*年中行事やイベントなどを実施している事業所もあります

資料提供：株式会社アプニス

「共同生活援助」(グループホーム)

地域での少人数の共同生活を支援する事業所です。

共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助を行います。決められた支援があるのではなく、その利用者(入居者)の希望や状態・特性に応じて、生活をするうえで一人一人に必要な支援を提供しています。

共同住居の形態は様々で、事例のように一軒家などで共同生活をする「シェアハウスタイプ」のほか、ワンルームアパートなどを活用した「アパートタイプ」などがあり、いずれも共有スペースを有しています。支援体制についても、食事提供の有無や職員(世話人)のいる時間帯、夜間・休日の対応などはホームごとに異なり、季節ごとの行事やイベントなど、休日の余暇を提供するホームが多いです。

居室は入居者のプライベートスペースであり、各自の生活スタイルに合わせて自由にアレンジしています。

事前課題 共同生活援助「ピアハウス」のイメージ



共有スペース
(リビング)



入居者の居室

1日のながれ (例)

- 7:00 朝食
- 8:30 入居者通所

* 休日は各自が自由に過ごす

- 17:00 入所者帰宅
- 19:00 夕食

* 実際には各入居者の生活スタイルによって外出や食事時間などは変わってきます

資料提供：一般社団法人REAVA

04 サービス担当者会議 事前準備シート

確認が必要な事項(誰に何を確認する?)

本人、父親、相談支援専門員、A市福祉課、
※共同生活援助・サービス管理責任者、共同生活援助・世話人、
※就労継続支援B型・サービス管理責任者、就労継続支援B型・生活支援員

ご本人に確認したい事項

ご家族に確認したい事項

関係機関(GH、就B、相談、市役所)に確認したい事項

その他

※各サービス管理責任者の立場での確認事項、意見を述べる事項を整理してください。

05 ご本人との面談

ご本人との面接映像をみて感じたことは？

	すべし	すべからず
面談 1		
面談 2		

配付資料 06-01 サービス等利用計画(案)

利用者氏名	水道橋 久さん	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX##	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと
地域相談支援受給者証番号	000XXX??	通所受給者証番号	000XXXX\$		

計画作成日	20XX +3年 6月 5日	モニタリング期間(開始年月)	20XX +3年 8月	利用者同意署名欄	
-------	----------------	----------------	-------------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分の事は自分でできるようにしたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごととは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達がいほしい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまえば久の面倒はみられません。久には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>
----------------------------	---

総合的な援助の方針	<p>グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。</p>
-----------	---

長期目標	<p>① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していくうえでの力をつける。 ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③ 相談する力をつける。 ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。</p>
------	--

短期目標	<p>① グループホームの日常生活に慣れる。 ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③ わからないことや困っていることを相談する。 ④ 昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。</p>
------	---

優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)				
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできる事を増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない	
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	就労継続支援事業での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない	
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のこと、困ったり、不安だったりしたことを相談できるようにする。	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月		
4	楽しみをみつけた。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3ヶ月		

07 ニーズの整理表

グループ

利用者名
さん

No.	①サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	②初期状態の評価(利用者の状況・環境の状況)	③利用者(性格特性・素質・興味関心)・環境の強み	④支援者の気になること・推測できること(支援の可能性)	⑤願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごととは相談したい。</p> <p>楽しみをみつきたい。</p>	<p>知的障害(軽度)障害支援区分3</p> <p>小学3年生から情緒支援の特別学級に移り、6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学は地域の中学校の特別支援学級へ、高校は特別支援学校の高等部に進学。</p> <p>中2の冬からセルフプランで放デイを利用開始。放デイは決まったプログラムはなく、自由に過ごせるところで、気の合う友達もできた。相性の悪い友達とのトラブルもあったが、人とのやり取りを学べた。</p> <p>高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていった。</p>			

08 ニーズの整理表(共同生活援助)

グループ

利用者名 水道橋 久 さん

No.	①サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	②初期状態の評価(利用者の状況・環境の状況)	③利用者(性格特性・素質・興味関心)・環境の強み	④支援者の気になること・推測できること(支援の可能性)	⑤願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごととは相談したい。</p> <p>楽しみをみつきたい。</p>	<p>知的障害(軽度)障害支援区分3</p> <p>小学3年生から情緒支援の特別学級に移り、6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学は地域の中学校の特別支援学級へ、高校は特別支援学校の高等部に進学。</p> <p>中2の冬からセルフプランで放デイを利用開始。放デイは決まったプログラムはなく、自由に過ごせるところで、気の合う友達もできた。相性の悪い友達とのトラブルもあったが、人とのやり取りを学べた。</p> <p>高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていった。</p> <p>困りごとが有っても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。</p> <p>趣味は、昆虫の図鑑を見ること、手先が器用なので木工が好き。お菓子やケーキなどの買い物が好き。</p>	<p>自分の事は自分でできるようになりたいと前向きな思いがある</p> <p>1人でコツコツ集中できる作業が好き</p> <p>就労意欲がある・将来の目標がある</p> <p>朝起きられない自覚がある</p> <p>迷惑をかけたくないという家族思い</p> <p>金銭管理は仕分けを手伝えれば使用可</p> <p>丁寧に教わると安心できる</p> <p>好きなことに集中して取り組む事ができる</p> <p>遊んだり、趣味を共有できる友人を欲しいと思っている</p> <p>支援チームがある</p>	<p>世話人が使い易い方ややり方を丁寧に教える事で生活スキルを身につけ、自分のできる事が増え自信につながるのでは</p> <p>目覚ましを利用し、起きられない場合は世話人が声をかける事で起きられない不安は解消できるのでは</p> <p>誰にいつ相談できるかを明確にすることで安心感を持った生活につながるのでは</p> <p>楽しいと思える事を一緒に探す事で楽しみの幅が広がるのでは</p>	<p>○掃除や洗濯、調理等自分が出来る事を増やしていきたい</p> <p>○朝、起きる時間を決めて自分で起きて仕事に行けるようになりたい。</p> <p>○生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい</p> <p>○楽しみをみつきたい</p>

No.	①サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	②初期状態の評価(利用者の状況・環境の状況)	③利用者(性格特性・素質・興味関心)・環境の強み	④支援者の気になること・推測できること(支援の可能性)	⑤願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	知的障害(軽度)障害支援区分3 小学3年生から情緒支援の特別学級に移り、6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学は地域の中学校の特別支援学級へ、高校は特別支援学校の高等部に進学。	3年後を用途に一般就労したいと前向きな思いがある 1人でコツコツ集中できる作業が好き 公共交通機関は練習すれば利用できそう 朝起きられない自覚がある 迷惑をかけたくないという家族思い 自立したいという気持ち強い 1体1で丁寧に話をすると安心して話ができる	様々な作業を体験する事で得意なこと知る事につながるのでは 集中して取り組める作業環境を提供した方が良いのでは	○自分の得意なことを知り、出来ることを増やして、自信を取り戻したい ○遅刻せずに事業所に通所したい。 バスを利用して通所が出来るようになりたい ○困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい。 ○楽しみをみつきたい
	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	中2の冬からセルフプランで放デイを利用開始。放デイは決まったプログラムはなく、自由に過ごせるところで、気の合う友達もできた。相性の悪い友達とのトラブルもあったが、人とのやり取りを学べた。	高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていった。	誰にいつ相談できるのか明確にすることで安心感を持った生活につながるのでは	○楽しいと思える事を一緒に探す事で楽しみの幅が広がるのでは
	困りごとは相談したい。	困っても自ら相談できない。会話はできるが自分の意思を正確に伝えることは難しい。	好きなことに集中して取り組む事ができる 遊んだり、趣味を共有できる友人を欲しいと思っている。		
	楽しみをみつきたい。	趣味は、昆虫の図鑑を見ると、昆虫の話ができる友達が多いと思っている。	支援チームがある		

10 個別支援計画

グループ _____

利用者氏名： _____

作成年月日 _____ / _____ / _____

サービス等利用計画の総合的な方針

グループホームでは生活上の様々な経験を通じて、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

ご本人の希望や願い（到達目標）

長期目標（内容・期間等）

短期目標（内容・期間等）

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的 到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

年 月 日 利用者氏名 _____

印 _____

サービス管理責任者氏名 _____

印 _____

利用者氏名： 水道橋 久さん

作成年月日 年 月 日

【サービス等利用計画の総合的な方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。

【短期目標】① グループホームの生活に慣れる。② 決まった時間に起きる。③ 困りごとを相談する。④ 生活上の楽しみをみつけるための相談をする。

【長期目標】① 掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身に付ける。② わからないことや困りごとや相談して解決できるようになる。③ この間にみつけた生活上の楽しみを続ける。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
自分で出来る事を増やしていきたい。	掃除や洗濯、調理など、まずは出来る事からやってみます。わからない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方や料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。	毎日	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい。	目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	目覚ましを鳴り続けていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。起きられない時間が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。	月～、金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	2
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい。	わからないことや困りごとは早めに相談します。まずは、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話すことから始めます。	わからないことや困りごとはいつでも話を聞きます。まずは、毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時はいつでも 毎日 夕方 5時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
楽しみをみつけたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。	久さんが、楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。	第2・第4土曜日 朝 10時	川崎(サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日：

年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎 まさお

印

配布資料 12 就労継続支援B型事業所 個別支援計画(案)

利用者氏名: 水道橋 久さん

作成年月日 年 月 日

【サービス等利用計画の総合的な方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標は達成できるよう支援する。

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3年後には一般就労をして立派な人になる

【短期目標】

- ① 作業手順を覚えて、作業に慣れる。② バス通所にチャレンジする。
- ③ 困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談する。

【長期目標】

- ① 働くための力をつけるために様々な作業体験を積んで自信をつける
- ② 困ったり、不安なことを相談して解決できるようになる

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的な到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分の得意を知り、できることを増やして、働く自信を取り戻したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意・不得意を分析するために様々な作業を体験しましょう。 ・まずは、1人でコツコツと集中できる組立作業に取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作業体験ができるような就労アセスメントのプログラムを作ります。 ・少人数のグループで、得意な組立作業を体験できるようにします。 	月～金 9:30～16:00	松阪 (職業指導員)	1
遅刻をせずに事業所に通所したい。 バスを利用しての通所ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決めた時間に起きるようにしましょう。 ・バス通所にチャレンジしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方を覚えるために生活支援員と一緒にバスに乗降します。乗り方を覚えたら、一人でバスに乗降できるようにバス停で見守りをします。 ・ご希望がある時は、グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援することができます。 	月～金 8:45～9:15 16:30～17:00	鈴木(生活支援員) 本田(サビ管)	2
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや心配事がある時は、スタッフに伝えましょう。 ・気持ち不安定になり、イライラしそうな時は、すぐに相談しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。 ・何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。 	面談 毎週水曜日 13:00～ 困った時・不安な時はいつでも	本田(サビ管) 松阪(職業指導員) 鈴木(生活支援員)	2
楽しみをみつけれたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな昆虫図鑑のこと、友達関係のこと等、話をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみを見つけるために、スタッフと一対一で話ができる時間を作ります。 	第3月曜日 9:30～10:00	鈴木 (生活支援員)	3

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

就労継続支援B型事業所「スマイル」

確認年月日: 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名 本田 一郎 印

13 (記入様式) 個別支援計画の中間評価

利用者名

到達目標	達成状況の評価				現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位
	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
1	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
2 ポイント	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
3	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
4	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			

14 個別支援計画の中間評価(共同生活援助)

利用者名 水道橋久さん

到達目標		達成状況の評価				現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位
1	自分でできることを増やして行きたい	達成	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルに通所することには張合いがあるようだ。 ・毎日こまめに家事をしているが、はじめたばかりで頑張り過ぎて、好きなことをする余裕がないのでは。 	
2	朝、起きる時間を決めて、自分で起きるようになりたい	達成	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・生活していく上での力をつけたい気持ち強いが、毎日の生活に追われて、心にも体にも余裕がない。そのため、自分はダメだと思ってしまうようだ。 	
3	生活上のわからないことや困り事を相談できるようになりたい	達成	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルの通所を減らして、身のまわりのことに集中する日をつくったが気持ちに余裕が持てないのでないか。 ・久さんの本音も、スマイルでの様子も知りたい。ピアハウスでの様子もお知らせして、久さんの希望にあった生活を支援したい。 	
4	楽しみをみつけない	達成	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・次回のサービス担当者会議(モニタリング)の際に、話し合う必要がある。 	

15 個別支援計画の中間評価(就労継続支援B型)

利用者名 水道橋久さん

到達目標	達成状況の評価	現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位
1 自分の得意を知り、できていることを増やして、働ける自信を取り戻したい。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルでの活動には慣れしてきた様子。 ・詳細な評価は、別紙、就労アセスメント結果表を参照。 ・手順書や丁寧な説明があれば、集中して作業に取り組むことができ、作業の正確性や巧緻性も高く、この点はセールスポイントにできる。 ・環境の変化や予定の変更がある時にパニックにならず解決できるような方法を一緒に探す支援が必要。 ・時々就労についての不安を話す。 	<p>スマイルの利用はこのまま続けたいと思っているが、生活との両立がうまくできない様子。</p> <p>また、就労に向けての不安があり、気持ちの整理ができない様子。</p> <p>以上のことを確認するためにも、サービス担当者会議を開催して、ご本人・支援者が改めて話し合う必要がある。</p>	
2 遅刻をせずに事業所に通所したい。 バスを利用しての通所ができるようになる。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・バス通所(慣れたところ)はできるようになった。 ・最近、朝起きられずに、バスに乗り遅れることがある。 ・遅刻連絡はできている。 ・疲れた様子で通所してくる時もある。 	<p>毎日の生活に追われて、心身ともに余裕がない様子。</p> <p>今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。</p> <p>そのため、グループホームとの連携を密にして生活の様子を把握した上で支援の見直しをする。</p>	
3 困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるとなりたい。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に面談の時間をもったが、自分の気持ちをうまく伝えることができず、今後、面談の進め方などにスタッフ側の工夫が必要。 ・自分のペースを乱されたり、せかされると、感情のコントロールができず、イライラしたりパニックになるのは、自分でもわかっている様子。すぐに相談に来れるような支援が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木工や製造のプログラムに参加。傍ら、色々な経験をして得意なものを探すため、下請け作業もしている。 ・器用さを活かして、品質は高い。 	
4 楽しみをみつけない。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫博物館に行きたいと話している。 ・自分では予定を決められない様子。 ・博物館視察を、希望者を募り、事業所の社会生活活動のひとつとして取り組めないか検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思ってしまうことがあるよう。 ・就労アセスメントの結果を用いて、ご本人の得意として評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという意識合わせをしていく必要がある。 	

15 個別支援計画の中間評価(就労継続支援B型) 別紙
【就労アセスメント結果票】 氏名 水道橋 久さん

評価項目		セールスポイント	問題なし	努力ポイント	所見
健康管理	1 服薬管理		<input type="radio"/>		
	2 体調管理		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	「疲れて余裕がない」と話すことがある
	3 食事栄養管理		<input type="radio"/>		
日常生活管理	4 基本的な生活リズム		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	朝起きられないことがある
	5 金銭管理		<input type="radio"/>		
	6 余暇の過ごし方		<input type="radio"/>		
	7 交通機関の利用		<input type="radio"/>		バス通所はできるようになった。
対人技能	8 感情のコントロール		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラしたり、パニックになることがある
	9 苦手な人との接し方		<input type="radio"/>		自分なりに距離をとっている様子
	10 注意されたときの対応		<input type="radio"/>		丁寧な説明があるとパニックにならずに対応できる
	11 協調性		<input type="radio"/>		大集団の中では他の人が気になり落ち着かない様子
	12 欠勤等の連絡		<input type="radio"/>		自分で欠席・遅刻の連絡はできる
基本的労働習慣	13 あいさつ		<input type="radio"/>		慣れた人には丁寧にあいさつができる
	14 会話・言葉づかい		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	会話はできるが、内容を正確に理解すること、自分の意思を正確に伝えることは難しい
	15 作業上の報告・連絡		<input type="radio"/>		自ら報告、連絡することは苦手だがマニュアル化すればできる
	16 規則の遵守		<input type="radio"/>		
	17 体力		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1日3時間程度の作業に従事できるが、精神面に左右される
	18 仕事の準備と後片付け		<input type="radio"/>		手順書があればできる
	19 集中力の維持		<input type="radio"/>		興味をもつと集中できる
	20 作業能力の向上		<input type="radio"/>		環境の変化によってムラがあるが、少しずつ向上している
職業適性	21 指示の内容の理解		<input type="radio"/>		早合点したり、わかっていない時でも返事をしたりするが、丁寧に説明すると理解できる
	22 作業の正確性		<input type="radio"/>		手順書があれば、作業をミスなくできる
	23 巧緻性		<input type="radio"/>		手先が器用である
	24 危険への対処		<input type="radio"/>		
	25 作業意欲		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	意欲はあるが、不安になると引きこもってしまう

18 個別支援計画(変更案)作成の会議録(共同生活援助)

作成日: R●/●/●

利用者氏名	水道橋久さん	事業者名	グループホームピアハウス
開催日時	R●/●/● (●)	サービス管理責任者氏名	川崎まさお
開催場所	グループホームピアハウス「スタッフルーム」		
会議出席者	所属	氏名	氏名
	ご本人	水道橋久さん	豊田のぞみ
	管理者	大阪みずほ	小玉ひかり
	生活支援員	名古屋はやて	川崎まさお
現状および検討事項			
<p>○個別支援計画のモニタリング(中間評価)表参照</p> <p>○久さん 就労に向けては、「父親に世話になったので迷惑をかけたくなくない」という気持ちには変わりずあり、「3年後ぐらいにはまた働きたい」という意欲はあるが、朝起きられずグループホームの生活にまだ慣れないという心配も話してくれる。自分ではどうしたいのかを決めれないが、就労訓練は継続したいと思っている。 毎日の生活に追われて心身ともに余裕がなく、「自分だけだめだな」と思う。「昆虫の博物館」に行ってみてみたい気持ちはあるが、仕事に疲れてなかなか行けない。自室の掃除や洗濯をするのが億劫になりできぬことが多い。 遅刻も増えている。</p> <p>○川崎(サービス管理責任者) 就労継続B型事業所スマイルの生活支援員からの情報を報告。 スマイルでは、製造や木工の作業を中心にプログラムを組んでいる。なるべく一人で集める作業環境を用意して取り組んでいる。 手先は器用であり、完成させる作業の製品の質は高い。しかし、持続力がなく、午後からは疲れてしまふ様子がうかがえた。基本作業時間を3時間に延ばすことを試行したが現時点では困難だと判断していた。 毎週水曜日に面談の日を設けていて、「仕事は大丈夫です」と答えるが、自分の本心から言っているのかは定かではなく、どのように支援していけば良いのか迷っているとのこと。</p> <p>○豊田(世話人) 朝7時に目覚ましをセットしているが、1週間のうちに起きられた日は2日ほどあるかどうか。 洗濯と掃除、調理はこまめに行っている。しかし洗濯などは、毎日する必要があるので、こちらで世話人が思うほど取り組もうとしている。また調理も毎日頑張ろうとしているので、こちらで洗濯と掃除、調理を行う曜日や時間を相談しながら決めてはどうか。本日は、夕食後に、楽しみにしている昆虫図鑑を見たりしたいようだが、疲れている様子が早く寝てしまう。しかし朝も起きられない。 以前にやりたい希望に話してくれた「昆虫博物館に行く」ことも、土日のお休みも疲れていて、外出する気はおきない様子。</p>			
今後の課題 および確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整え、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。そのため、就労支援事業所との連携を密にして支援の見直しをする。 ・ご本人が朝が起きられず、疲れている様子がうかがわれ、楽しみをする時間も毎日の時間設定を行い、ご本人の強みを伸ばし、弱みを支援するという方向で、プログラムや支援を組み立てる。 		
	<p>○検討事項</p> <p>① 朝起きることができず、遅刻してしまうことが増えてきているので、安心して過ごせるリズムを考えたい。</p> <p>② 掃除や洗濯、調理は少し負担になってきている部分もあるので、1週間のなかでバランス良く計画を立てることを検討する。</p> <p>③ 楽しいことをする時間がなかなかとれないので、楽しむ時間を考えていく。</p> <p>○対応</p> <p>① 自宅から出て、グループホーム入居と就労訓練が併行して始まり、ご本人にとつて、初体験することや新しいことが重なり、心身ともにストレスがかかっているように見える。久さんの気持ちの迷いや、自分一人では整理できない思い等があるため、早めのサービス担当者会議(モニタリング)を開催してもらいサービスの調整を行う。サビ管から相談支援専門員に連絡、依頼する。今後は、就労支援事業所スマイルと密に連携をとつて、支援を組み立てていく。</p> <p>② 「就労したい」という気持ちは確認できるが、朝起きられなかったり、夜は疲れている様子もうかがえる。掃除、洗濯や調理もがんばってやろうという意欲は十分感じるので、その気持ちは大切にしていきたい。久さんがゆとりをもってできるようにするために、丁寧に説明し、あまり詰め込みすぎないようにガス抜きも伝えていく。 サビ管から1週間の過ごし方について話し合い、少しゆとりをもった生活ができるように本人と一緒に考えていく。</p> <p>グループホームの日課や週案については、この会議で案を作成し、後日、改めて久さんの気持ちは確認し、同意をもらい実施する。 具体的には、 ご本人が楽しみにしている時間を確保できるように、ゆとりをもった支援をする。</p> <p>③ 楽しいことをする時間をあらかじめ1週間に週間予定に取り入れる。</p>		

利用者氏名	水道橋 久さん	事業者名	就労継続支援B型事業所「スマイル」
開催日時	R●/●/● (●)	サービス管理責任者氏名	本田 一郎
開催場所	就労継続支援B型事業所「スマイル」 相談室		
会議出席者	所属	氏名	氏名
	ご本人	水道橋 久さん	松阪てるお
	管理者	所沢洋子	熊野ゆうこ
	生活支援員	鈴木さくら	サービス管理責任者 本田 一郎
現状および検討事項			
<p>○個別支援計画のモニタリング(中間評価)表参照</p> <p>○ご本人から 就労に向けては、3年後には就職したいという気持ちと、このままよいという二つの気持ちがあり、自分ではどうしたいのかを決められない。就労訓練は継続したいと思っている。毎日の生活に追われて心身ともに余裕がなく、「自分だけだ」と思う。自室の掃除や洗濯、調理は必要以上にながらばってしまい、疲れてしまう。遅刻も増えている。 昆虫博物館に行きたい気持ちはあるが、疲れてしまいがちなかなか行くことができない。</p> <p>○生活支援員から GHピアハウスの世話人から聞き取った生活の様子を報告。 帰宅後、疲れている様子。家事は必要以上にがんばってしまい、そのことで更に疲れてしまうことが課題。 また、しばしば「自分だけだ」と思いつい、悩む傾向が強くなっているのが心配。 GHでは、スマイルの利用時間を減らし、ゆつくり身の回りのことをする日課設定を検討中とのこと。 また、朝起き難いとのことで遅刻が多い。 遅刻の連絡は必ずあるが、その電話をかけるのもストレスになっているかもしれないと感じる。</p> <p>○職業指導員から 就労アセスメントに基づいて、製造や木工作业を中心にプログラムを組んでいる。 経験としてその他の下請け作業にも参加してもらおうがある。 下請け作業も手先の器用さを活かしてそつなくやっている。しかし、集中力できずに、すぐ疲れてしまう様子で、基本作業時間を延ばすことを試行したが現時点では困難だと判断している。 毎週水曜日に面談の日を設けたが、自分の気持ちをストレートに話すことができず、黙って込んで殻に閉じこもることがある。 面談日の設定や、面談の進め方を検討したい。</p>			
今後の課題 および確認等	<p>・今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えること、グループホームとの連携を密にして支援の見直しをする。 ・ご本人が自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思いき、思いつい、悩むようなので、就労アセスメントの手法を用いて、ご本人の得意として評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという方向で、プログラムや支援を組み立てる。</p>		
検討事項	<p>○検討事項 ①就労訓練と安定した生活を送るための支援を同時に継続していくかどうかを検討する。 ②就労に向けて前向きに取り組めるプログラムや支援内容を具体的に考える。 ③面談の設定、面談の進め方を検討する。</p> <p>○対応 ①グループホーム入居と就労訓練が併行して始まり、ご本人にとって、初体験することや新しいことが重なり、心身ともにストレスがかかっているように見える。 ご本人の気持ちに迷いや、自分ひとりでは整理できない思い等があるため、早期にサービス担当者会議を開催して、サービスの調整を行う。 サブ管から相談支援専門員に連絡、依頼する。 今後は、グループホームと密に連携をとって、支援を組み立てていく。</p> <p>②「就労したい」という意思は確認できるが、「自分では決められない・自分に自信がない」等、前向きな思考ができない。 就労アセスメントの結果を再度丁寧に説明し、自分の強みや得意なことを確認する。ご本人が納得できるように、何度も繰り返して一緒に確認し、話し合う。 アセスメントの結果説明は職業指導員が担当する。</p> <p>就労訓練の日課や週案については、この会議で案を作成し、サービス担当者会議に提案する。後日、改めてご本人の気持ちを確認し、家族・グループホーム側の同意もらい実施する。</p> <p>具体的には、 就労訓練は午前中のみの2時間を基本作業時間とする。昼食後に帰宅する。 ご本人が得意とし、評価も高い、手先の器用さと製品の完成度が求められる作業だけに取り組み、成功体験・達成感が感じられるような支援をする。</p> <p>③ご本人が話しやすい人間関係を作るため、面談日を増やし、面談担当は変えず、生活支援員の鈴木が行う。</p> <p>④楽しみにしている昆虫博物館への見学はグループホームの支援として設定して頂きたい。</p>		

利用者氏名：水道橋久さん

作成年月日 R03 / ● / ●

【サービス等利用計画の総合的な方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるように支援する。
 (★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)

【ご本人の希望や願い (到達目標)】 掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。★主語は「ご本人は…。」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は…」

- ①グループホームの生活に慣れる ②決まった時間に起きる。 ③困りごとを相談する。
 ④生活上の楽しみを見つけるための相談をする。

【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は…」

- ①掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身につける。②わからないことと困りごとや相談して解決できるようにになる。③この間にみつけた生活上の楽しみを続ける

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標 ★主語は「ご本人は…」	本人の役割 ★主語は「ご本人は…」	支援内容（内容・留意点等） ★主語は「支援者は…」	支援期間 （頻度・時間・期間等）	担当者	優先順位
自分でできることを増やしていきたい	掃除や洗濯、調理など、まずは出来ることからやってみます。分からない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方、料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。毎日すると疲れてしまうので、曜日を決めていきましょう。	火：洗濯 水：掃除 木：調理 土：洗濯	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい	ゆっくり入浴して、1時間早めに就寝する。目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	ゆっくり入浴して、1時間早めに就寝することをお手伝いします。目覚ましを鳴り続けていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。遅刻しそうな日は、朝食をおにぎり弁当をつくります。	月～金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようにになりたい	わからないことや困りごとは早めに相談します。引き続き、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話していきます。	わからないことや困りごとはいつでも話を聞きます。毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時はいつでも 毎日 夕方 5時	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
楽しみをみたい。	昆虫などの趣味や友だちら活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。日曜日に1時間の趣味の時間をつくりたい。	久さんが楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。昆虫の博物館のパンフレットを取り寄せて、見学の計画を立てましょう。日曜日の趣味の時間をうまくかえるように支援します。	第2・第4土曜日 朝10時 日曜日 朝10時	川崎 (サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日：令和 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎

印

21 就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画の一例(変更案)

利用者氏名: 水道橋 久さん

作成年月日 R2 / ● / ●

【サービス等利用計画の総合的な方針】

(グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標は達成できるよう支援する。
★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3年後には一般就労をして立派な人になる。 ★主語は「ご本人は…」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は…」

- ① 日常生活を見直して、生活リズムを整える。
② 不安に思うことは何でも相談できるようにする。
- 【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は…」
① グループホームで安定した生活を送りながら、就労訓練に取り組み。
② 基本作業時間を4時間に設定できるようにする。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割 ★主語は「ご本人は…」	支援内容(内容・留意点等) ★主語は「支援者は…」	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
自分の強み・弱み、得意・不得意を知りたい	自分の強み・弱み、得意・不得意を分析しましょう。	就労アセスメントの結果を丁寧に説明し、一緒に、自分の強み・弱み、得意・不得意を具体的に分析する時間を持たします。 セールスポイントになる手先の器用さと完成度の高さが評価できる作業プログラムを優先的に作ります。	月～金 9:30～13:00	本田(サビ管) 松阪(職業指導員)	3
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	困ったことや心配事がある時、気持ち不安定になり、パニックになりそうな時は、すぐにスタッフに相談しましょう。	月と金の活動後に面談をしますので、何でも話して下さい。 何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。	面談:毎週月・金曜日 13:00～ 困った時・不安な時はいつでも	松阪(職業指導員) 鈴木(生活支援員) 本田(サビ管)	2
生活リズムを整えるため、日常生活を見直したい	就労訓練は午前中のみを設定し直しましょう。 通所時間を少し遅くして、自分のペースで通所の準備をしましょう。	就労訓練は毎日午前中の2時間に設定し、昼食後に帰宅できるようにします。 生活支援員が、通所や生産活動に取り掛かるまでの時間の流れを具体的に一緒に考えます。 グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援します。	月～金 10:00～13:00	鈴木(生活支援員) 本田(サビ管)	1

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

就労継続支援B型事業所「スマイル」

確認年月日: 令和 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

本田 一郎

印

個別支援計画書

作成年月日： 年 月 日

利用児氏名：

利用児及び家族の生活に対する意向	
総合的な支援の方針	
長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「言語・行動」、「認知・行動」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

児童発達支援管理責任者氏名：

年 月 日 (保護者署名)

押印廃止

(別添)

参考様式（生活介護）厚生労働省HP（令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について）より

個別支援計画書

利用者氏名：

作成年月日： 年 月 日

利用者及び家族の生活に対する意向	
総合的な支援の方針	
長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>生活介護は記入必須 (生活介護の記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時間 4時間 ・送迎に係る配慮 1時間 ・障害特性に係る配慮 30分 ・送迎時の移乗等 30分 <p>合計のサービス提供時間 6時間</p> </div>

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 支援をカテ ゴリー化し て記載する 等の工夫に 使用。 </div>		<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 使い方は任意だが、左に支援内容、右側にポイントを書く等。 </div>				

提供するサービス内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意しました。

サービス管理責任者氏名：

年 月 日

(利用者署名)

押印廃止

個別支援計画

参考：神奈川県サビ児管研修検討部会より

作成年月日： 年 月 日

利用者氏名： _____

計画実行期間： 年 月 日 ~ 年 月 日

【サービス、利用計画の総合的な方針】

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

【長期目標(内容・期間等)】

【短期目標(内容・期間等)】

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援機関 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

説明日： 年 月 日

説明者： _____

作成者：

サビ児管理責任者氏名

印

利用者氏名：

印

令和7年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修
演習カリキュラム(タイムスケジュール)
 (時間は目安です。当日の進行状況により変動します。)

時間目安	内容詳細
9:30	オリエンテーション
9:35	セクション①-1 ・講師陣の紹介(統括から) ・演習ガイダンス
	9:55
10:05	セクション②-1 ・サービス担当者会議への参加準備 利用者概要の把握
	10:20
10:50	休憩
11:00	セクション③ ・サービス担当者会議体験 ロールプレイ[講師陣によるデモンストレーション]
	11:25
11:55	昼休憩
12:45	セクション④-2 ・サービス等利用計画の説明 ニーズ整理(個ワーク)+ニーズ整理(Gワーク)
	13:40
14:35	
15:05	セクション⑥-1 個別支援計画の説明(参考例を基に)
15:15	休憩
15:25	・演習ガイダンス2 ・サービス担当者会議2のロールプレイ(モニタリング)
	16:00
16:50	休憩
17:00	モニタリング振り返り
17:10	セクション⑦ ・個別支援計画【修正案】の作成
	17:45
17:50	振り返りとまとめ ・【演習2】の振り返り 研修全体の総括
	18:25
18:40	修了書の発行・事務連絡